

平成26年第1回定例会の開会にあたり、教育行政報告を申し上げます。

1 中学生の全国大会出場について

まず始めに、中学生の全国大会出場についてであります。昨年12月27日に岩見沢市で開催された「第1回北海道中学生シングルソフトテニス選手権大会」の男子部門で、緑陽中学校の高橋臣(2年)(たかはし じん)さんが優勝、大曲中学校の熊野壮平(2年)(くまの そうへい)さんが3位となりました。

また、本年1月13日に札幌市で開催された「第40回北海道中学校インドアソフトテニス選手権大会」のダブルスで、緑陽中学校の高橋臣さん、河部優真(2年)(かわべ ゆうま)さんのペアが準優勝しました。

ともに、3月26日から三重県伊勢市で開催される「都道府県対抗全日本中学校ソフトテニス大会」に、北海道選抜選手として出場権を獲得しました。

さらに、1月14日に札幌市で開催された「第46回全道中学校スキーノルディック大会」のスキースペシャルジャンプ競技で大曲中学校の中島貴之(3年)(なかじま たかゆき)さんが4位となり、2月4日から長野県野沢温泉村で開催された「第51回全国中学校スキー大会」に出場し、持てる力を最大限に発揮し、7位に入賞しました。

2 第8回はまなす杯全国中学生空手道選抜大会について

次に、第8回はまなす杯全国中学生空手道選抜大会についてであります。3月28日から30日までの3日間、総合体育館において開催されます。

この大会には、3日間で全国から延べ1万人余りの選手や関係者の方々が本市を訪れることから、実行委員会を組織して、選手等を温かく迎える準備を進めているところであります。

3 北広島市エコミュージアムセンターについて

次に、北広島市エコミュージアムセンターについてであります。本年夏の開設にあたり、昨年12月に名称の募集を行ったところであります。

「北広島エコミュージアム構想」は、「温故知新」の精神を基本としており、22件の応募作品の中から、その趣旨を端的に表している「知新館」という名称を選定し、その「館」を、時や人が出会い、交わる場所を表す「駅」に置き換えて、施設の名称を「北広島市エコミュージアムセンター知新の駅」にしたいと考えております。

今後、センターでの遺産の紹介や学習体験への参加を通して、多くの人々が「時」の列車に乗り、市内各所の過去・現在・未来を自由に行き来できる新しい「駅」が本市に生まれることとなります。

なお、本定例会において、北広島市エコミュージアムセンター知新の駅条例の制定について提案させていただいたところであります。

4 石狩管内教育実践奨励表彰について

次に、石狩管内教育実践奨励表彰についてであります。優れた実践活動により学校教育及び社会教育に貢献し、その実績が顕著な個人・団体が表彰されるものであります。今年度、学校教育部門で西部中学校が、社会教育部門で特定非営利活動法人北広島ITネットワークがそれぞれ受賞し、2月14日に表彰式が行なわれました。

西部中学校はコミュニティ・スクールの実践など管内において先進的な教育活動の取組が評価されたものであります。

また、北広島ITネットワークは、IT講座の開催やインターネットTV（きたひろTV）の放送をするなど、本市の地域情報化への貢献などが評価されたものであります。

以上申し上げ、教育行政報告といたします。